

2023

7.5 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_ADx0VcvVTMy2h3_C6dx_g

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

様々なライフステージでの健康づくりとその影響を考える

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



Key Words

健康づくり

メンタルヘルス

ライフステージ

幸福長寿

岸本 裕歩 准教授

基幹教育院 自然科学理論系部門



大阪府枚方市出身。2010年に九州大学大学院人間環境学府にて博士（人間環境学府）、2017年には同大学院医学研究院にて博士（医学）を取得。その後同年4月より現職。九州大学の学部生および福岡県糸島市民を対象とした疫学コホートの主任研究者を務めている。特に、糸島市民の疫学コホート（Itoshima Felix Study）では、要介護化の抑制に関する追跡調査を継続しながら、ICTやIoTを用いた運動・健康づくり事業（糸島ふれあいラボ）を展開中。

このセミナーでは、人生のいろいろな時期で出会う健康の問題について取り上げたいと思っています。身体は年齢を重ねていくとともに形態や機能が変わっていきます。この変化をどう受け止め、楽しく過ごすためにどんな工夫ができるのか考えます。20歳～30歳代は心身の機能が人生の中で最も良いと考えられていますが、心や人間関係の問題に悩むことも多く、メンタルヘルスを良好に保つことが大学生活を送る上で重要になります。人々が幸せに暮らすために、私たち一人ひとりが健康を守り、さらに周りの人々にも良い影響を与える方法を考えてと思います。